



ふなばし 国際交流協会ニュース

〈第43号〉

2009年12月15日発行



西安市を訪れた市民交流使節団一行

船橋市・西安市友好都市提携15周年記念事業

国際交流のつどい2009 in 西安

国際交流協会では、船橋市在住の外国の人々との交流の場として、例年天沼弁天池公園で「国際交流のつどい」を行ってきました。

今年は、船橋市と西安市が友好都市提携を結んで15周年を迎えたのを機に、場所を西安市に移し、11月3日「国際交流のつどい2009 in 西安」を開催しました。協会が募集した市民ら102名の交流使節団が西安市を訪問、友好を深めました。

国際交流協会は、西安市との友好都市提携15周年記念事業「国際交流のつどい2009 in 西安」に際し市民交流使節団を結成し、11月1日から4泊5日の日程で西安市を訪問した。

1日目 田村団長をはじめ102名の使節団員は定刻10時40分北京に向け飛び立った。北京空港での雪の影響で西安に着いたのは真夜中であった。

2日目 西安市の代表的な遺跡、兵馬俑見学。歴史の重みをひしひしと感じた。

3日目 午前中使節団一行の代表者が西安市を表敬訪問。市庁舎では、董軍副市長はじめ市の幹部の方々の温かい歓迎を受け、約1時間余にわたり歓談し、両市がさらに太い絆で結ばれていることを実感した。午後には西安文理学院(西安市にある大学)で「国際交流のつどい2009 in 西安」を実施する予定であったが、新型インフルエンザが発生し、会場を使節団が宿泊している

ホテルに移し、船橋側から童話の輪読・ばか面・かな書道・クラフト・和綴・香道、西安側から書道など二つ、計8ブロックに分かれ、それぞれのコーナーで熱心に取り組んでいた。また文理学院学生5人による日本語スピーチコンテストが行われ、学生が自分の思い、心情、エピソードを流暢な日本語で発表、賞品が贈られた。夕食のパーティーでは、中国の芸能が披露され、あつという間の1日ではあったが、お互いの理解が深まり、今後の友好の大きな力となった。

4日目 上海へ移動。夕食のさよならパーティーでは、在上海日本国総領事横井裕氏が公務多忙の中出席され「世界的不況を乗り切った上海経済力の秘密」と題し講演が行われ、皆熱心に聞き入っていた。

5日目 最後の日となり、観光コース、現地法人オムロンの視察コースと分かれ行動。

使節団102名は事故もなく、無事成田空港に到着した。

広報委員 大橋、中谷

世界をもっと知ろう「地球のステージ」公演

7月29日(水) 18時から船橋市のきららホールに於いて「地球のステージ」公演が催されました。この公演は、国際交流協会の初の試みとして「世界をもっと知ろう」をコンセプトに企画・実行されました。公演の概要は次の通りです。

- 世界各地で医療救援活動をしている医師桑山紀彦さんの体験をもとに、紛争・貧困国の中でたくましく生きる子どもたちの姿を伝え、世界の「今」を知るとともに、彼らの存在を知って、「ともに寄り添い生きる共生」のあり方を考えることを目標としています。
- NPO法人「地球のステージ」は、日本全国で2,000回以上にも及ぶ公演を行ない、全国に数多くのファン・サポーターがいて、公演活動を支えています。

会場は、入場者260人と、きららホール満席状態。小学生から年配の方まで、文字通り老若男女で埋まりました。協会田村会長の挨拶の後、いよいよ公演が始まりました。



桑山紀彦さん

公演は、フィリピン、ソマリア、東ティモール、旧ユーゴスラビア、日本でのさまざまな人々との出会いと生きる姿を、大画面の映像とオリジナル音楽を折り込んで紹介があり、桑山さんの絶妙な語り口と一体となり、感動深いものでした。

公演終了後、入場者からの質問コーナーがあり、小学生や大人の方々から質問が寄せられ桑山さんから懇切な回答がありました。その例

Q「僕たちはどんなことをして行けば良いですか」

A「やさしい人、素直な人になるよう毎日の生活の中で心がけて欲しい」

Q「海外生活の中で大切なものはなんですか」

A「笑いながらジョークを交えて」「食べることですね。チャーハン。中華料理店は大体どこにでもある、作る時は食材を炒めれば出来上がり」

公演でもらった感動を胸に会場を出ました。

広報委員 宮



質問コーナー



ようこそ！ アンデルセン童話の世界へ

8月22日(土)船橋市中央公民館6階講堂で船橋・オーデンセ姉妹都市提携20周年記念行事として、童話とチターの楽しいひとときを過ごしました。これは姉妹都市委員会が平成19年5月より毎月開いている『アンデルセン童話マラソン読書会』の一端の紹介も兼ねました。

第1部では、「マッチ売りの少女」を読書会の会員12名がスクリーンに映し出された紙芝居に合わせて輪読をし、鈴木講師の解説が続きました。



川村洋子さん

第2部では、会員の川村洋子さんによる「豚飼いの王子」のおはなしで、最初の手遊びで聴衆の心を解きほぐした後、巧みな話術で皆さんを童話の世界に引き込みました。

第3部は、内藤敏子さ

んによるチター演奏です。内藤さんは日本でのチター奏者の中でも第一人者で、秋篠宮紀子妃殿下の先生としても著名な方です。「乙女の祈り」、「エーデルワイス」、チターのためのオリジナル曲の「心への道」などを、興味深いトークを交えて演奏してくださり、あまり聞くチャンスのないチターの音色に皆さん聞き入っていました。

最後のティータイムでは、お茶とお菓子をいただき、鈴木講師が収集されているアンデルセンの数々の内外の本やオーデンセ市との交流風景パネルを見ながら、アンデルセンやデンマークについて語り合いました。

当日はJCN船橋習志野テレビの取材があり、後日放映されました。

姉妹都市委員会 中川 純子



チターの説明をする
内藤敏子さん

外国人のための避難所宿泊訓練

8月29日(土)・30日(日)に船橋市国際交流協会が主催、NPO法人横須賀国際交流協会・船橋市・横須賀市が共催して「外国人のための避難所宿泊訓練」が行われた。「災害時外国人サポーター養成講座」も同時開催

会場が市北部「市立小室小学校体育館」に設けられたので、往復バス便(天沼弁天池公園ー三咲駅ー小室小)が利用された。参加人数は日本語教室の学習者が大部分の42人(中国、フランス、フィリピン、ベトナム、スリランカ、台湾など)、ほかにサポーター、協会員、事務局、横須賀、近隣市視察、講師などの100人余。

「船橋市は震度6弱の地震。大きな被害を受けている」状況が設定され訓練を始めた。市消防局員10人と協会の前副会長中川氏の指導の下、体育館内の猛暑を避けて、屋外にシートを敷き、心肺蘇生法(CPR)・A



野外で救命訓練



即席カレーで夕食

E D訓練。「新潟中越沖地震のときの柏崎市内の様子」の映写を見ながら、多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事高木氏の講演。田村協会会長の挨拶。夕食(マジックライス・カレー・サラダ・デザート)後、サポーターによる母語での聞き取り訓練。交流委員会の「お楽しみイベント(広告紙での手提げ袋作り・Tシャツ活用包帯作り・スプーンリレー)」。アルミマット・懐中電灯・寝袋の配布があり、消灯22時。就寝中にヤモリ・蝙蝠・蜂・蚊などが参加者を歓迎しに訪れた。

参加外国人は「実際に被害にあったら訓練どおりにはいかないと思うが、経験を大いにいかしたい。なによりも協力体制の大切さも学んだ」と語った。

広報委員 坂井

花の美術館観賞、散策とバイキング

9月25日(金)、交流委員会交流グループの企画に、総勢37名が船橋の天沼弁天池公園に集合しました。杜協バスに乗り、9時半には一路千葉海浜にある「花の美術館」へ向かいました。

道中混雑もなく、かなり早めに到着したので、当初の予定を1時間ほど繰り上げ、12時10分まで美術館観賞と散策、その後昼食をとることになりました。



バスを降り、美術館の入り口で集合写真を撮った後、約2時間の自由時間に、三々五々花ばなを観察したり、写真に収めたりしながら楽しみました。

館内の熱帯植物園に入ると、フィリピン出身の人は自分の国の植物を説明をしたり、中国の北部出身の人は見たことのない亜熱帯の花や植物にじっくり見入っては、しきりにシャッターを切っていました。また、2階では花の写真や絵などの展示もあり、野菜の花の



写真にも目をとめると「綺麗ねえ」との声ががりました。

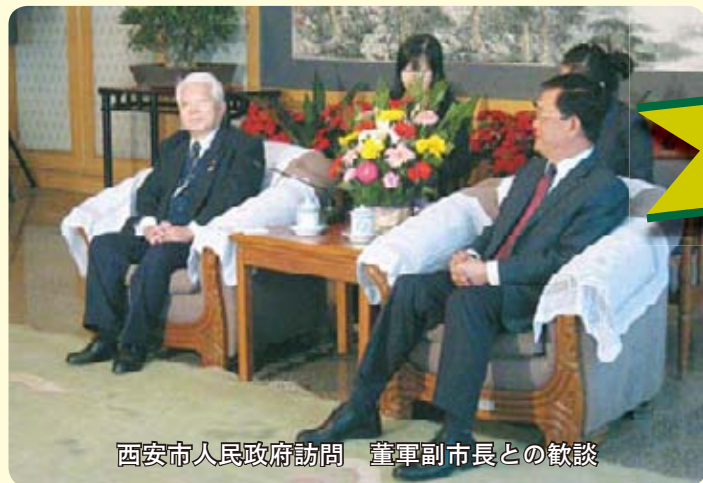
昼食は幕張に移動して和食のバイキング。ヘルシーな料理を少しずつお皿に盛りながら、2皿、3皿と何度も往復してお腹を満たしました。

午後2時過ぎには幕張を後にし、再び杜協バスにて帰路へ。途中道路は少し混み合いましたが、3時頃には天沼弁天池公園に到着、そして解散となりました。当日はお天気にも恵まれ、きれいな花ばなや亜熱帯植物を観賞しながら国際交流を深めた一日となりました。

広報委員 塚原



船橋市・西安市友好都市提携 15 周年記念事業



西安市人民政府訪問 董軍副市長との歓談



大雁塔公園 友情無限記念碑前にて



交流会開会にあたり西安文理学院を代表してあいさつ



西安文理学院学生へ日本から持参したお土産の書籍



交流会 船橋市側の「童話の輪読コーナー」



交流会 船橋市側の「ばか面コーナー」



交流会 西安文理学院側の「切り絵コーナー」



交流会 船橋市側の「クラフトコーナー」



交流会 船橋市側の「和綴コーナー」



交流会 船橋市側の「香道コーナー」



交流会 西安文理学院側の「書道コーナー」



交流会 船橋市側の「かな書道コーナー」



「日本語スピーチコンテスト」の出場者



交流夕食会 西安文理学院学生による太極拳



交流夕食会の様子

外国人の働いている職場訪問（第3回）

株式会社 パール技研

株式会社パール技研は船橋市内に本社を置き、製造工場を白井市に持つ、屈指の精密機械製造工場です。創業時には学童用鉛筆削りの刃を製造し、その後、時の潮流とともに事業が拡大して、常に若い社員の伸びる力を発揮させて、時代をリードしています。

今では「ホンダ」の車の部品を製造し、その数は7,000点におよび年間何万個という数を納品しています。これらの製品は若い社員が、コンピューターを駆使し、開発、製造していきます。その緻密さ、正確さは1ミリの1,000分の9というから最終的にはコンピューターを使っているの検査が求められます。

こうした若い社員に3名の中国からの研修生が働いていました。彼らは「アルパックス」という日中共同設立の派遣会社からの研修生で、3年間日本で言葉や技術を学び、また祖国へと帰ります。張さん・姜さん・宋さんは、いずれも山東省の出身で日本に来て2年になります。



1年目は日本語の教育が主になり3名とも日本語検定の資格を取得し、自分の自信につなげるようにしているとのことでした。3名にお話を聞いてみました。

（休みの日には、何をしていますか。） 買い物に行くことが楽しいです。特に野菜を買ってきて、料理をつくるのも楽しいです。それ以外の時は勉強をしています。会社の仕事、上級検定のこと、勉強はいくらでもありますから。

（この宿舎での暮らしはいかがですか。）とても気に入っています。

（どんなところですか。）静かでいいです。そしてきれいですね。庭の花もとてもきれいです。

（日本に来て、行った所で印象に残るのはどこですか。）ディズニーランドは楽しかったですね。会社の鴨川の寮もとても良い所でした。



広報委員 田嶋

いつも笑顔で国際交流 ―外国人相談に携わって―

私は海外出張をした時、たびたび外国人に親切にされた経験から、帰国後は何とかお返しをしたいものと思っていました。ある時、千葉市内でコミュニティ通訳研修会を受講する機会をえました。そこでは、船橋市国際交流協会外国人相談窓口委員会の野上さんが活動状況について講演をされました。内容を知って、とても実践的でやりがいがある活動と感じ、すぐに入会しました。相談窓口活動に定期的に参加してみて、私の望みはかなえられました。

通常、外国人が相談窓口へ来る時は、期待が半分、不安が半分といった顔で恐る恐る入って来ます。その時、迎え入れるのは「ボランティア全員の笑顔」であり、次に掛ける言葉は「ようこそいらっしゃいました!」で

外国人相談窓口委員会 影山 洵^{まこと}

す。相談に来る目的は育児上の悩み、金銭トラブル、国際結婚の行き詰まり等と多岐にわたり、かなり深刻な内容もあります。どんな時も、温かい友好的な雰囲気で見守るような心がけます。関係部署の適切なアドバイスで問題点の糸口をつかめると、相談者はホッとします。その後、お茶を勧めると柔和な表情になり、居合わせるボランティアの優しさも相談者の心を温かく包んでいるようです。相談者がなごり惜しそうに部屋を後にする時、このボランティア活動をして良かったという実感がわいてきます。ここで学んだことは「笑顔は全てに勝り、優しさは国境を超え、言葉の壁を超える」ということでした。



ハイワードでの留学生活

国際交流協会の留学生派遣事業
カリフォルニア州立大学 第18期留学生の報告

習志野台 志田 雄一郎さん



School Tripで参加したパンプキンフェスタ

ハイワードは世界中から学生たちが集まり、さまざまな国の人々が生活している地域でした。実際に私のルームメイトもメキシコ人とインド人でした。考え方や価値観の違う者同士と一緒に生活していたので全く問題がなかったというわけではありませんが、異文化を理解しようとお互いの国の文化・習慣について質問し合ったのを覚えています。お互いの国の料理を交代で作って、食文化交流も行いました。

イースト・ベイ校はさまざまな学問を学ぶことができ、この留学プログラムでは1つの分野を専門的に学ぶこともできればいくつかの分野から授業を取り、幅

広く知識を学ぶこともできます。私は主にビジネスを学びに留学したのですが、環境学や栄養学など自分の興味のある科目も受講しました。日々、課題や宿題に追われてはいましたがとても有意義な時間でした。

週末は学校が主催するSchool Tripに参加したり、サンフランシスコへ友達と買い物に行ったりして過ごしました。連休を利用してアメリカへ遊びに来た家族や友達とニューヨーク・ロサンゼルス・ラスベガスを旅行したのも忘れられない思い出です。

最後になりましたが、現地で大変お世話になった鶴本夫妻、そしてこのようなすばらしい機会を与えてくださった船橋市国際交流協会に心から感謝しております。今後もずっと船橋市とハイワード市の友好関係が続くことと、一人でも多くの船橋市民がこのすばらしい留学プログラムを通して貴重な経験をなされることを願っております。



仏、韓、米国出身の学生と夕食会

西安市との囲碁交流

ふなばし囲碁協会会長 山下 功さん

都市間の囲碁交流と囲碁大会が20年続いたことは世界記録を創り、2008年に上海大世界ギネスブックに中国・外国姉妹都市との囲碁対抗試合開催最多回数として認定された。

今回の西安囲碁団は李鋼毅西安市囲碁協会執行秘書長を団長として総勢20名であった。

当日は藤代市長と村田市議会議長を表敬訪問した。市役所玄関には両国の国旗が掲揚され、それを見た西安団員はいたく感激していた。

午後はふなばし囲碁協会会長、生涯学習部長、文化課課長、国際交流室長の歓迎の挨拶のあと、両市10名の対抗戦と親睦試合が行われた。対抗戦はこれまで開催地が勝利しているが今回も船橋市が勝利し、対戦成績は通算9勝9敗となった。

大会終了後は近くの割烹玉川で懇親会が開催された。一番人気は日本酒で、そこそこで日本酒での乾杯、続いてカラオケ合戦が繰り広げられた。

互いに友情を深めあい、来年西安市での再会を誓い閉会となった。



友好都市提携15周年記念事業 西安市・船橋市市民親善囲碁大会が5月25日(月)に船橋市職員研修所で開催された。この囲碁大会はふなばし囲碁協会が主催し、船橋市と船橋市教育委員会が後援した。

船橋市と西安市の囲碁交流は1988年から始まり、一時期中国の事情で中断したものの21年間続いている。

ズームアップ

A L T (Assistant of Language Teacher) の紹介(第3回) マシュー リット (Matthew Litt) 先生

今回はニュージーランド出身のマット(マシュー)先生の登場です。すでに14年間日本に住んでいらっしゃるお兄さんの影響で、前に2度来日されています。このたびはA L Tの仕事をするために来られました。



海神中学1年生のActivity Time のクラスを見学しました。正午をはさむ授業でしたので、「おなかですいたね。みんなはどう？」と始めて、生徒の気持ちをほぐすという感じでした。主な内容は2種類のゲームです。ひとつめのインタビュー

ゲームでは、全生徒が教室中を動き回って、「何(食べ物、スポーツ、動物など)が好き？」と質問し、「Aさんは～が好き。」というようにメモしていきます。最も多くの答えを集めた人がチャンピオンです。ふたつめは、カードとりです。今回は母音の違いを聞きとらせるもので、絵と文字の書かれたカードを机に広げ、socks と six, son と sun, hot と hat など聞き分けてカードを取るのです。生徒が楽しんで授業に取り組んでいる様子が見られました。

日本の学校には、運動会や合唱祭のような催しものも多く、興味深いとのこと。授業ではジョークを言っ



マット先生の授業風景

たり、笑顔絶やさず生徒をリラックスさせるようにしているそうです。教えることが楽しいので、この仕事を続けたいと意欲的に語られ、誠実な人柄も言葉の端々からうかがえました。

広報委員 中川

お知らせ

カリフォルニア州立大学への留学生を募集

姉妹都市米国・ハイワード市にあるカリフォルニア州立大学イーストベイ校への留学生(1年間)を募集します。

期 間：平成22年9月中旬～23年6月中旬

対 象：以下の全てに該当する人①日本国籍を有し、市内に継続して1年以上住んでいる②平成2年4月1日以前に生まれ、高校を卒業している③TOEFL 525点(iBT 71点)以上を取得

募集人数：3名

受入学部：芸術、文学、社会科学、経済、教育、科学

選考方法：1次→書類選考、2次→英語・日本語の面接(2月21日(日))

申 込：2月12日(金)(必着)までに、所定の用紙を国際交流協会(〒273-8501※住所不要)へ※用紙は、協会事務局で配布。また協会HPでダウンロード可。

また「緊急時の会話」の課では、協会員である外国人応急手当普及員(全国初!)による普通救命講習を取り入れるなど協会との連携を深めた企画となっています。

来年度以降もできるだけ多くの外国の方が、船橋での生活にソフトランディングするお手伝いをしていきたいと思っています。



日本語教室委員会で新しい試み

船橋で暮らすための日本語初級3ヶ月

外国人住民のための日本語学習支援を行っている市内7教室に加え、今年度新たに西部公民館にて「短期速習講座」を開催中です。当講座は日本での暮らしにおける最初の一步で使う日本語を週2回全18回で学びます。挨拶・各種窓口・買物など日常生活で出会う場面の表現習得が目標で、テキストを一から手作りし、毎回きめ細かく準備をして進めています。学習者8名も休まず来て、一生懸命声を出したり身体を使った活動に参加したりして上手になろうとがんばっています。

あとがき

我が家に植えてあるレモンの木は、レモンツリーというほどの大きな木ではなく、100cm程の低木だが、今までに2個の実をつけている。植えてからここ13年の間、同じ枝にたった2度実をつけただけだった。

方角が西に面しており、またもみの木にも遮られ、日当たりが悪いのが一因かもしれない、とずっと思っていた。しかし、今年主人が人工的に受粉を試みたところ、別の枝に3個のレモンの実がなっているのを発見した。その実は青くてまだ小さいが、その成長が楽しみになってきた。

(M. T.)